アーマーモデリング編集部
大日本絵画

フィギュア美女メイク

女性フィギュアをオレ好みに塗りあげろ！

THE BEAUTY FIGURE MAKEUP BOOK

フィギュア美女メイク

女性フィギュアをオレ好みに塗りあげろ!

アーマーモデリング編集部 ／ 大日本絵画

「フィギュア美女メイク」ー。 女性フィギュアの塗装にはメイクの知識が必要不可欠なんです。
女性はもともとある自分の顔を「若々しく見せたい、セクシーに見せたい、
小顔に見せたい、大人っぽく見せたい……」などたくさんの選択肢からそのとき目指すスタイルを
化粧で表現しているのです。 と、いうことは?
これはフィギュア塗装にも同じことが言える、というワケ。
本書ではそんなメイクの秘密をモデラーかつメイクコンシェルジュに解説してもらいつつ、
いろいろなジャンルの女性フィギュア作例を3つのチャプターにわけて紹介します。
自分の目指したい仕上がりをここで見つけるもよし、作品集的に楽しむもよし、
あなたの楽しみ方で本書を堪能してください。

(※本書は『月刊アーマーモデリング』の連載『フィギュア美女メイク』と『月刊アーマーモデリング』2020年12月号の「強くてカッコイイ女」を加筆し再編集したものです。)

CHAPTER.01 The Real Figure

009 女性兵士 " サラ "
013 中村 桜 " ドイツ アフリカ軍団 "
016 永遠のセックスシンボル マリリン・モンロー 韓国慰問ツアー 1954
020 minimum factory non バニーガール & アヌビスコスチューム
027 which-01
030 コスメコンシェルジュ さやぶ~のモケイコスメ道♡
031 JK メイトシリーズ " パーカー "
034 ザンドラ
038 1/20 うしじまいい肉

CHAPTER.02 CHARACTER Figure

043 歴装ヲトメ 木乃花 (このか) & 菖蒲 (あやめ)
046 1/20 アンジェさん
050 1/20 ランナちゃん
054 イメージスケール サンダース大学付属高校・ケイ (山下しゅんや Ver.)
059 バイクガール
066 血色の良さは照明から! フィギュアの色を正しくみよう!

CHAPTER.03 Modifying FIGURES and building the BASE

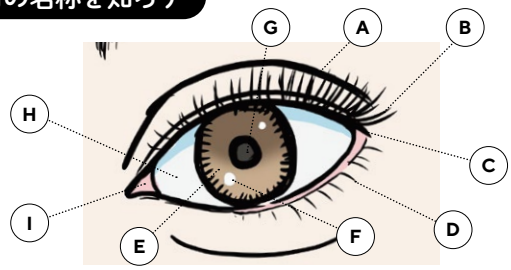
069 Pine ConeAutumn Trip
072 フィギュアが映えるシーンの描き方
074 Naked Angel 1/20 高橋しょう子
078 グラビアガール Vol.2
080 ギャル子 (原作版)
086 12 リアルフィギュア コレクション No.02 " ブロンドガール "
092 1/20 立花サキ 与圧スーツパイロットフィギュア Ver.2

イラスト・解説／さやぶ〜

MAKEUP BASICS

本書の作例たちを見る前にまずは化粧（メイク）のキホンを学び、化粧をすることで
どんな効果がうまれるのかを覚えておこう。美女をつくりあげる原理やメイクの効果がわかっているか、
わかっていないかでは仕上がりに大きな差が出ることは明らかだ。

まずは目の名称を知ろう



A 上瞼（二重線）

一見、目のメイクには関係ないように見えるが、目全体の陰影感を左右するポイント。うまくメイクできていないと厚ぼったく見えてしまう原因に。

B 上まつ毛

目の大きさを決める重要な要素。まつげを上げて長く見せることでパッチリとした印象になる。目力を調整するときもココ。

C 目尻

表情や性格の印象も目尻で決まる。目尻を上げればクールな印象に、下げれば優しい印象にもできる。横に伸ばせば妖艶な印象も与えることができる

D 下まつ毛

するかしないかで仕上がりにかなりの差が出るポイント。すればパッチリデカ目効果に、しなければナチュラルな印象にできる。

E 虹彩

人種によって大きく色が違う虹彩。人によっても明るさや鮮やかさが違う。虹彩にマッチしたメイクの色を選ぼう。

F キャッチライト

キャラクター性を左右する。しっかり入っているとキャラクターも活き活きしてくるし、ないと暗い印象を与える。

G 瞳孔（黒目）

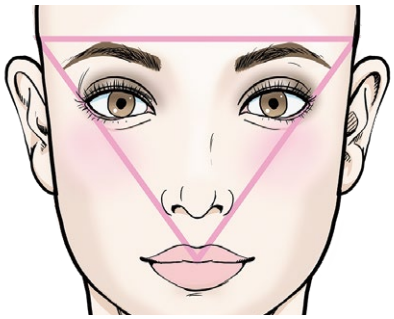
目に深みを与える瞳孔。明るい場所ではちいさく、暗い場所では大きくなる。興奮状態にあるときにも大きくなるので、表情を示すこともできるかもしれない。

H 結膜（白目）

白いのは結膜の下にある強膜が透けて見えているから。イラストなどではまぶたの影を書き込んだりすることもある。

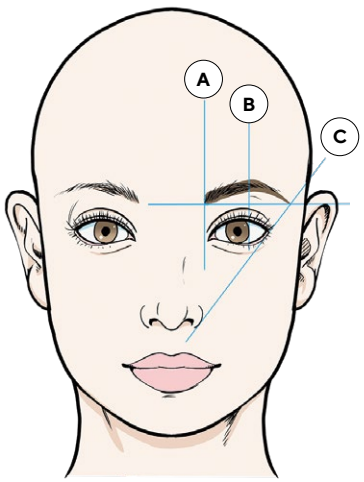
I 目頭

目尻と並んで表情や性格を決めるポイント。横向きか下向きかで与える印象も変わる。涙腺もあるので上下のアイラインの間にピンクの粘膜も見える。



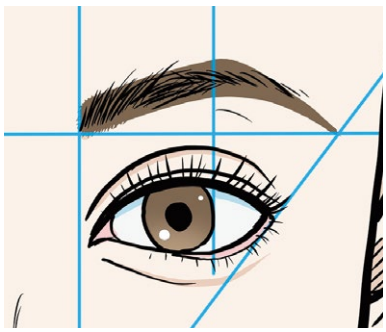
ここだけ頑張れば OK？「顔の大三角形」

▲この「顔の大三角形」はアーマーモデリング編集部が考えた造語。「目は口ほどに物を言う」ということわざがあるぐらいのなので、顔のメイクのなかでももっとも重要なのがアイメイクなのだ。プロのメイクさんにも「この大三角形の部分だけでもメイクを頑張れば“ちゃんとお化粧している”風に見える」というお墨付きをいただいた。特に女性は目の下のシワやシミで年齢が出やすい。またこの小鼻のワキ→目尻→眉尻を結ぶラインはいわゆる「眉毛の黄金比率」と言われている（下記で詳しく解説）。



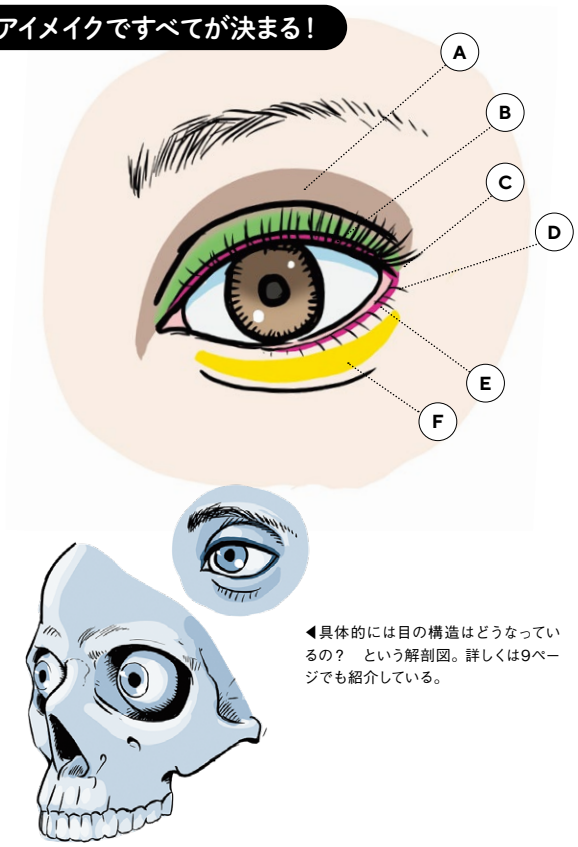
顔の額縁、眉毛のキホン

◀眉毛は「顔の額縁」とも言われ、顔の印象を大きく左右するパーツ。眉頭（Ⓐ）、眉山（Ⓑ）、眉尻（Ⓒ）のバランスに気をつけて左右対称に描きたいところ。時代によって眉毛の流行のかたちは変化するが、最近の流行りは平行に太く描く眉。描くポイントは眉尻は顔の大三角形の頂点Ⓒまで（いちばん長くて）、眉山は黒目の外側と同線上Ⓑ、眉頭は小鼻と同線上Ⓐに描くのがよいとされる（これが眉毛の黄金比率）。Ⓐはボカす、Ⓒはボカさない。ⒷとⒸの間の部分を丸くすると女性らしさを強調することができる。



▲長く描くと大人っぽく優しい雰囲気に。目がやや小さく見える。短い眉毛は若々しさやフレッシュな印象目を大きく見せたい場合も短くしよう。太い眉は力強さをアピールでき、顔の余白が減るので小顔効果も抜群。また細い眉は落ち着きがあって洗練された印象になり、老けて見える場合もある。自分が描きたいキャラクター性を考えて挑戦しよう。

アイメイクですべてが決まる！



◀具体的には目の構造はどうなっているの？　という解剖図。詳しくは9ページでも紹介している。

A アイホール（茶色）

眼球と周囲の骨の境の「くぼみ」の部分のこと。アイシャドーを入れる場所のひとつでくすみを消し、明るさとツヤをプラスすることで目元全体が広く強調される効果も。つり目の人にはあまり入れない。色は肌色より明るいハイライト色を入れるのが基本。選ぶ色によっては彫りの深さを演出し、目にメリハリを出せる。

B アイシャドー（緑色）

目の周囲、二重の人であれば目のキワから二重線までに入れる色のことを呼ぶことが多い。まぶたにグラデーションをつけることによって、目に立体感をだすことができる。目のキワに近ければ近いほど濃い色を載せるのが一般的。また塗り方次第で目の印象を変更することができる。Ⓐのアイホールや目の下のⒺⒻに入れる化粧品や方法の総称がアイシャドー。

C まつ毛

基本的に瞼上に放射線状に生えており、長さは二重線より少しはみ出る眉毛から目までの1/2くらいまで描くといい。長く描くと目が大きく見える効果もある。黒目の上だけ長く描く（画像の緑部分）と全体の雰囲気が丸く見えて可愛いくなる。目尻の方を長く描くと（画像の黄緑部分）セクシー、強いイメージ（目が横長に見える）。

D アイライン（ピンク上）

あげ目、平行、下げ目の3種類がある。あげ目は強い、セクシー、小悪魔な印象を。下げ目は弱い、あざとい印象。平行は基本的で、とくに印象を持たせたくないときは平行に。目の下側のアイラインはたまに入れることもある。太さは少し見えるくらいで、太く入れてはならない！ 基本的には黒色、茶色で描くが、夏は黄色などで描くこともある。

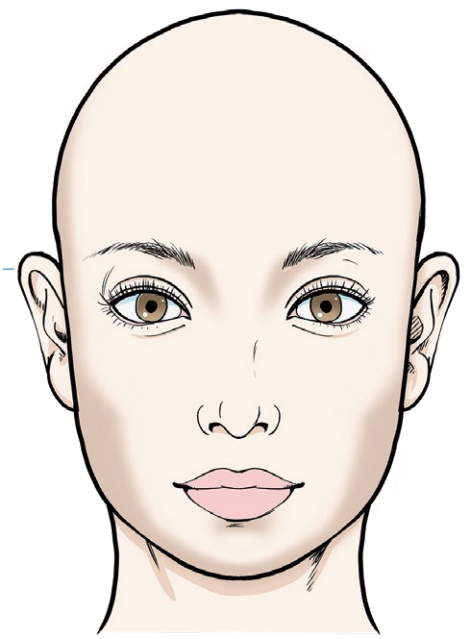
E タレ目ライン（ピンク下）

目尻部分から目の下1/3くらいまでアイシャドーと同じ、もしくは近似色を入れる。目を大きく見せたり、単純にタレ目に見せる効果がある。まつ毛をここに描くと同じくタレ目効果が出る。コスプレイヤーなど目を二次元的に大きく見せたい場合はこのタレ目ラインもアイライナーでくっきり描くことも多い。

F 流行シャドーライン（黄色）

'20年に流行したライン。ここに色を入れると涙袋を強調させる効果がある。涙袋を強調することで目を大きく見せたり瞳のうるうる感がアップする。白やピンクを載せることが多い。赤だといわゆる「地雷メイク」と呼ばれるものに。ただしフィギュア塗装で涙袋を強調させる場合は、フィギュアに涙袋の造形があってこその話である。

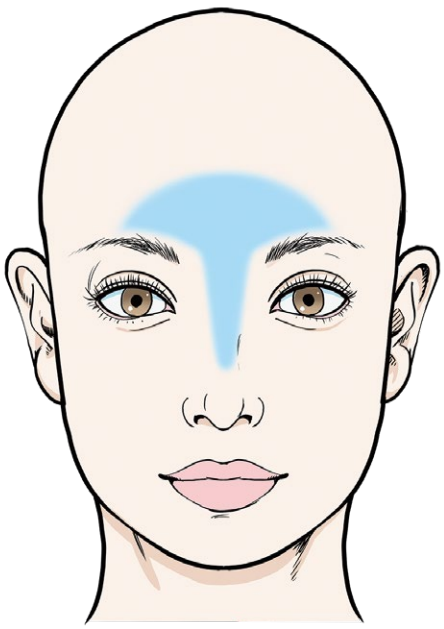
小顔のキモはシェーディング

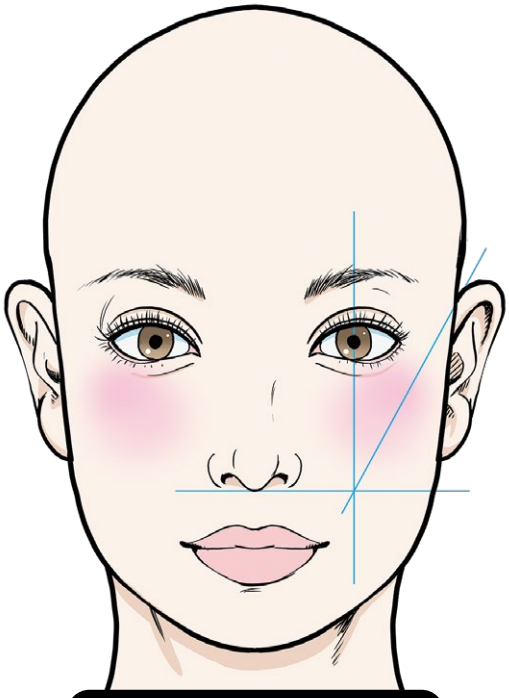


◀顔に自然な陰をつけてすっきり見せるために行なうのがシェーディング。図示した場所を自分の肌の色より少し濃い（暗い）くらいの色で塗ると顔の輪郭がひとまわりちいさく見え、小顔効果が生まれる。少し頬に差し込むのがポイント。またエラから首にかけても塗ると首との色味が馴染む。色黒の肌には逆のハイライト色を入れるとよい。眉と鼻にかけて「ノーズシャドウ」と呼ばれる箇所にも濃い色をいれると鼻が高く見える。

▶ハイライトを入れる部分は画像に青色でTの字のところ。自分の肌より少し明るめの色（ハイライト色）を入れると外国人ぽく、彫が深く見える効果がある。おでこを丸く見せると女性的に見せることができる。ポイントは顔に凹凸を多く作ることで、顔の中心を高く見せることで小顔効果やパッと明るい印象を与える。微粒のラメが入っているものを塗ると、いま流行りの「ツヤ肌」をゲットすることができる。

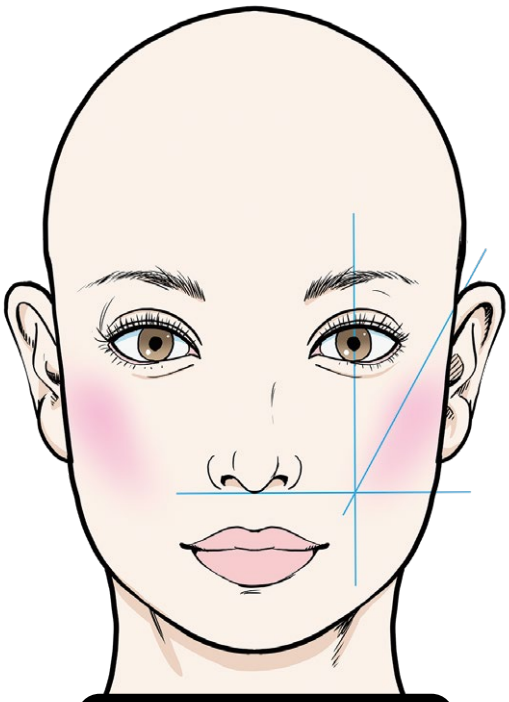
立体感をつけるハイライト





顔を丸く見せるチーク

▲チークとは頬に塗る紅。図のように頬骨のトップを中心に丸くチークを入れると顔が丸く見え、可愛く見える効果がある。頬のいちばん高位置を中心（顔の大三角形の線上）に丸くふんわり入れるのがコツ。それより下に入れるとバカっぽかったり、老けて見える。色はピンクか濃いめの肌色ならベージュやオレンジ系でも似合う。

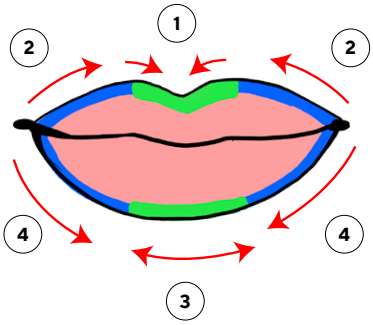


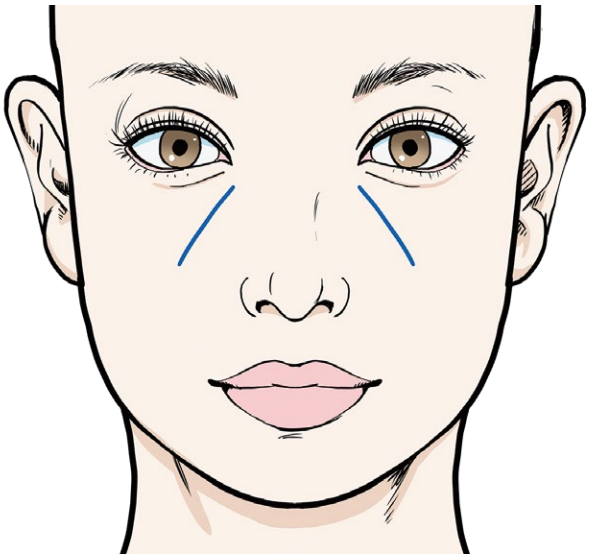
顔をシャープに見せるチーク

▲丸く見せるチークと違い、シャープやクールさを強調したいときは頬骨の下から外にむかって伸ばすようにいれると良い。この直線的なラインにより「顔を締めて」みせるのだ

色や形を楽しめるリップ

▼唇の印象で、顔がぱっと明るく見えたり、肌が綺麗に見えたり、顔が引き締まってみえたり、と顔のパーツの中でも1番楽しむことができるのがリップ。矢印の順番で外枠から描き中を埋めるとよい。赤で描くとセクシー（オーバーリップ）に、無難にするのであればピンクで描こう。また、ツヤありだとセクシーに、ツヤなしだと老けて見える。口角部分を上げて描くと若く、下げると老けて見える効果がある。美人の唇の条件は「山」と「谷」。唇の「山」と「谷」が曖昧だと口元が平たく見え、のっぺり顔に見える。このバランスをうまく書くことが美人唇への道。1→2→3→4の順番でアウトラインを描き中を埋める。





熟女をつくりたい場合は…

▲超人気コミック、アニメ『ゴルゴ13』に登場する主人公、暗殺者「ゴルゴ13」ことデューク東郷と同じ様に頬に線が入ることからゴルゴ線と呼ばれる。効果は単純に老けて見える。ただし、ただ老けて見えるのではなく美しく老けて見える。女性も加齢とともにあらわれる場合が多い。基本メイクではここを消すために行なうので本当に年齢が高い人を作るとき以外はいれない。

さやぶ～ メイクあれこれ

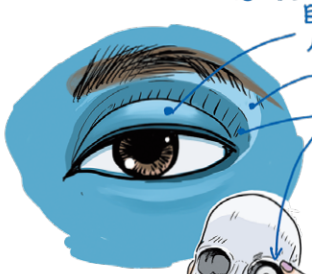
ここではモデラーでもありメイクコンシェルジュであるさやぶ～さんの「メイクあれこれ」をご紹介！　さやぶ～さんの詳しいプロフィールは30ページにも掲載されているのでチェックしよう。

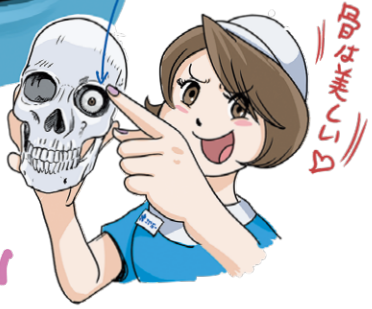
「目はメイクの要のひみつ」

皆さんは幽霊や猛獣に出くわした時、咄嗟に目と口を見ませんか？ これって動物が未知なるモノに出くわした時にとる防衛行動だと思うのです
また人の目は構造上一点しか注視する事ができません
従って「アメメイク」を押さえれば”勝った”も同然なのです

「アイメイクのひみつ」

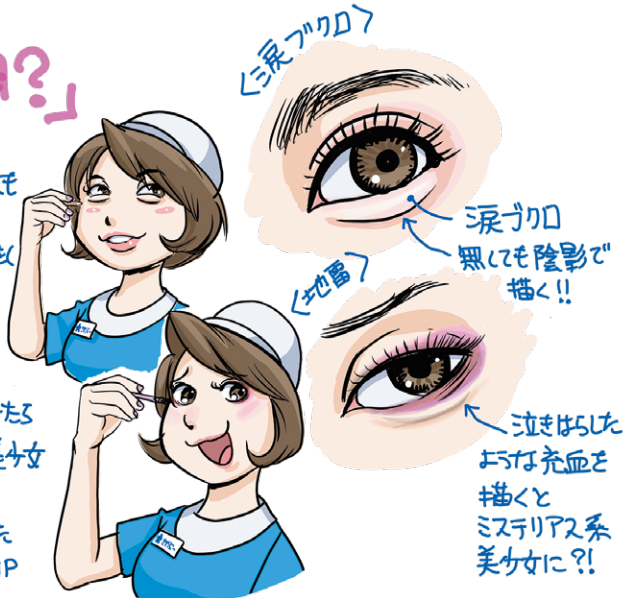
アメメイクの「塗り分け図」って様式化してるものが多い様に見えますが…要は「骨と眼球の作り出す美を強調する事」…と思います



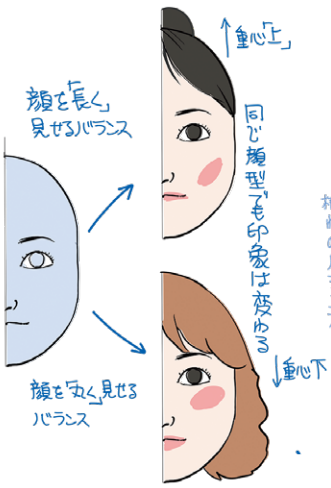


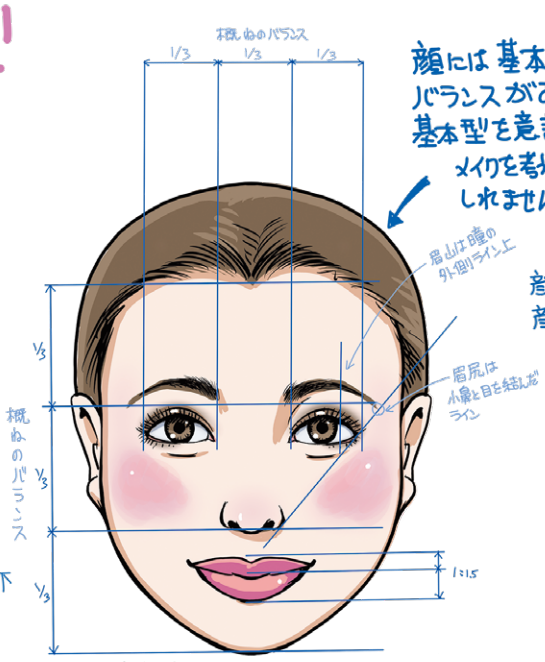
「メイクの大発明？」

「涙ブクロ」とは目の下のふくらみの事、元からある人もいれば無い人もいます。
そしてその効果は目を大きく優しい表情にできる事。
無い人はトリックアート的に描いちゃいます。
「土地霊系」とは かかわってみたら闇という地雷を持った美少女だった系（たぶん）
泣きはらしたような充血したアイメイクでミステリアス度UP



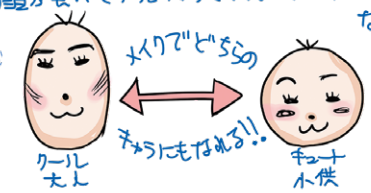
「顔の基本型のひみつ」





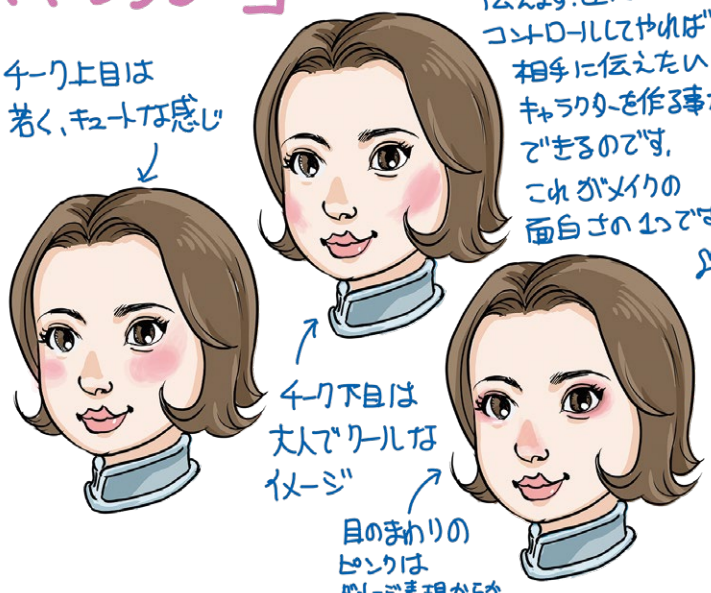
顔には基本型とも言えるバランスがあります
基本型を意識しつつ個性を出すメイクを考えるとわかりやすいかもしれません。

顔の持つ特徴が その人のイメージを作ります
顔が長い（クール・大人）↔丸い（キュート・小供）など



「ピンクが語るキャラクター」

顔のピンク（血色）はその人の年齢や健康態を視覚的に相手へ伝えます。逆にピンクをコントロールしてやれば相手に伝えたいキャラクターを作る事ができるのです。これがメイクの面白さの1つですね♡



「リップは性格を表す？」

「カチッ」としたリップ

かつてはボケたリップは「だらしない」と取られがちでしたが今はむしろ自然体でカワイイ表現の一つ

「ボンヤリ」したリップ

リップを直に指で塗ったり
フデ塗りのあと指で
なぞってボカします。
「山」を描かないのもアリ。

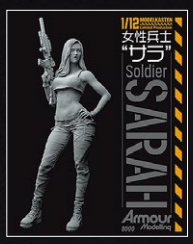
CHAPTER.01

The Real Figure

初めのチャプターで紹介するのは「リアル系」と呼ばれるフィギュア。モデルとなった現実の人物がいる場合と、架空の人物がモチーフになった場合の２パターンがある。前者の場合はモデルにどれだけ近づけるか、後者の場合はいかに自分の好みを色濃く反映できるかがポイントとなっており、そのアプローチの違いが見どころ。また、ラッカー系や油彩など、使用した塗料によって仕上がりの雰囲気に差が出ているところにも注目だ。

FIGURE SPEC

女性兵士“サラ”
1/12 レジンキャストキット
税込 8800 円　モデルカステン



原型製作はHistoneさんが担当し、パーツ数は全18パーツとなる。とくにどこの軍隊の女性兵士というワケでもない、ミリタリーお姉さんフィギュアだ。右手に持つのは「Mk18 Mod.1」というライフル。

Painted by

mamoru

本作のコンセプトは、兵士らしい強さと女性らしいしなやかさを両立させることです。

何度もテストを重ね、こだわり抜いた褐色の肌感とそれを活かすための髪色、表情や装備品の質感。とにかく全てを見て欲しいです。

見て欲しいポイントでもあり、苦労したポイントでもあるのですが、筋肉質な造型を活かすための肌色と髪色は納得いくまで何度かリトライを重ねました。また、全体の色のバランス取りにも苦心しました。　（mamoru）

» *The Real Figure.01*

SARAH

Part.01 組み立てパート

塗装前に仮組みを行なったり、パーツとパーツを接続するための真ちゅう線を打っておく。
また、目立つ合わせ目も消しておくとよい。

◀キットの離型剤除去後に各パーツの下地処理を行ない各パーツの合いと取り付け位置、組み付ける順番を確認する。このとき同時に真ちゅう線などで接続軸を打っておく。完成後に合わせ目が目立つ箇所は首とタンクトップの両脇。タンクトップの合わせ目はモールドとして処理すると組み付けがラクになる。髪パーツ裏側には耳が当たる位置があるのでそこを基準にして髪の取り付け位置を調整する。

Part.02 塗装パート

肌の塗装はミリタリーぽく、強く美しい女性をイメージして焼けた感じに仕上げた。最後にクリアバイオレットを吹き付けるのがキモだ。

1 ▲プライマー塗装後サーフェイサーを陰になる凹部分は濃く、明るい凸部分はレジンの色が透けるぐらい薄く吹き、陰影の基準とする。

2 ▲肌の赤味を出すために全体にガイアノーツのサフレス フレッシュピンクを吹く。このとき先に付けた陰影を消さないようにする。

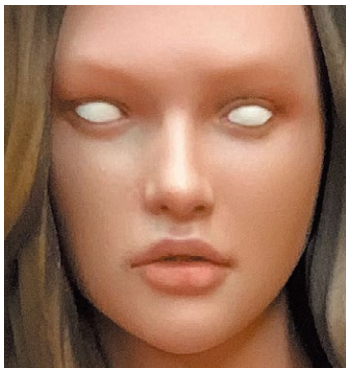
5 ▲陰になる部分にMr.カラーＧＸのＧＸクリアバイオレットを吹き全体のトーンを整えた後にツヤ消しクリアーを吹く。その後凸部分のみにツヤありクリアーを角度を付けて細く霧吹きして筋肉の盛り上がりを強調する。

3 ▲肌のベースカラー（Mr.カラーラスキウスのホワイトピーチ+ココアミルクを微量+ペールクリアーレッドを微量を混色したもの）を赤味と陰影が残るように薄く砂吹き塗装する。

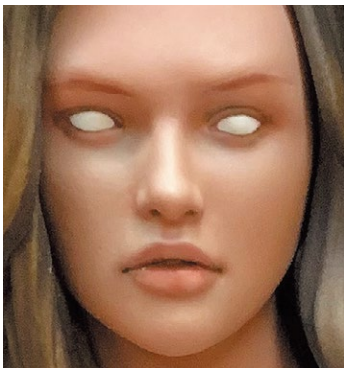
4 ▲全体にMr.カラー ラスキウスのペールクリアーブラウンを吹く。吹き終わった段階で赤味が強すぎるようなら微量のクリアーグリーンを混ぜた色を上掛けし色味を調整する。

製作したフィギュアは実在する人物がモデルではなく、オリジナルの女性フィギュアだ。なので、メイク工程で製作者の好みが完成時の雰囲気に大きく反映される。

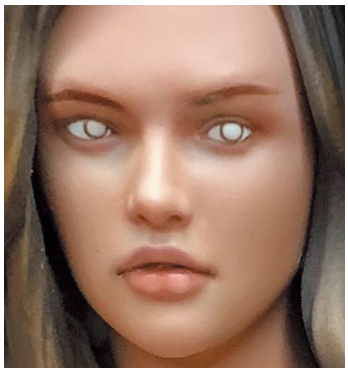
Part.03 メイクパート



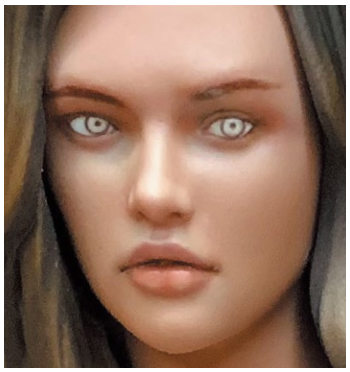
1 ▲白目を塗り目の輪郭と二重の線を描いて目の大きさを決め唇も塗っておく。



2 ▲目元や頬、輪郭の際部分などに陰影を付け顔全体のトーンを整える。このとき眉毛を薄く描き位置を決める。

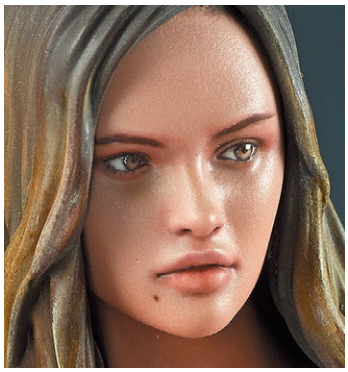


3 ▲瞳と眉は同時進行で少しずつ進めると表情を作りやすい。眉の位置と角度は表情に大きく影響するので慎重に。



4 ▲瞳の輪郭を描いたら瞳孔を描いて視線を決める。

5 ▲瞳にグレー寄りのブラウン（Mr.カラーのブラウン FS30219とホワイト、ニュートラルグレーの混色）を塗る。瞼との境界を意識しながら濃淡を付ける。



6 ▲顔全体にツヤ消しクリアーを塗装後、瞳だけにツヤありクリアーを塗る。口元のホクロは肌との境界線をボカすと馴染みがいい。

7 ▲髪は下半分だけ明るいグラデーションカラーにするのでエアブラシでグラデーション塗装後、油彩で毛脚やハイライトの表情付けを行なった。使用したのはMr.カラー 土地色とパンケーキブラウン。

OTHER PAINTING

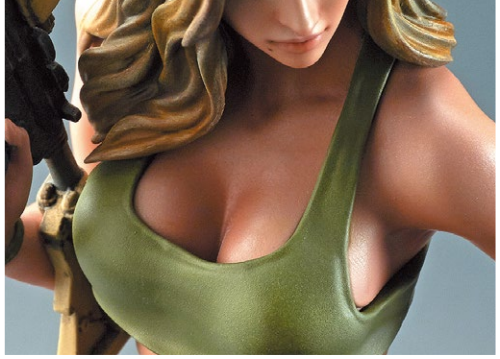
その他の塗装に使用した塗料

服の基本色：
Mr.カラー ロシアングリーン 4BO

靴：
Mr.カラー サンディブラウン

ズボン：
黒下地の上にMr.カラー バーリーグレーBS4800/18B21

銃：
Mr.カラー カウリング色



フィギュアのコンセプトは「強くてカッコいい女」、それを体現するかの如く、たくましい筋肉やお尻や胸のプリッと感をこだわり抜いた造形となっている。体の造形だけでなく腕時計やライフル、靴の紐や裏側まで一切の妥協はなし！　また、ズボンのシワ感やタンクトップの生地の薄さも感じて欲しい。今作は褐色の肌に塗装されたが、設定などはとくにないので手に入れられた方は自分の好きなように塗装してみよう。

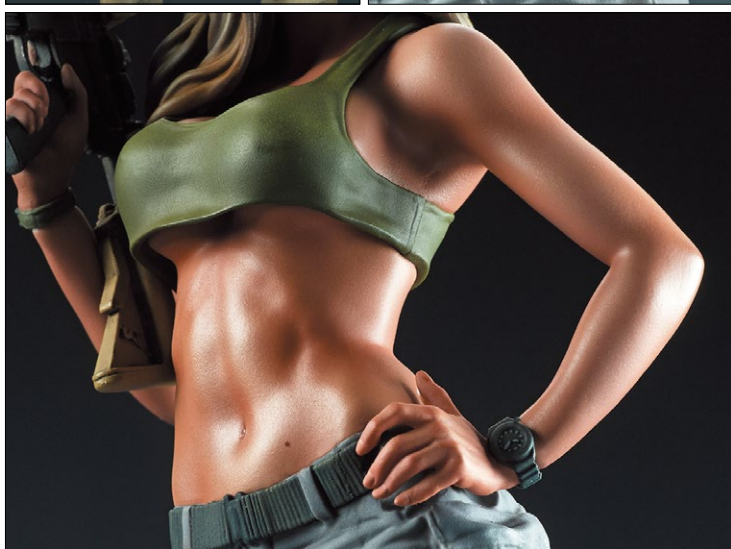


FIGURE SPEC

中村 桜 “ ドイツ アフリカ軍団 ”
1/20 レジンキャストキット
税込 6050 円
モデルカステン

第二次世界大戦におけるドイツ・アフリカ軍団の制服を着た中村 桜さんを3Dスキャン、出力したものに、竹一郎さんが細部の調整を行なったフィギュア。頭部パーツは帽子を被っていないバージョンも付属する。

Painted by

mamoru

スキャンフィギュアならではの精密さや曲線を活かしつつ中村 桜さんらしい柔らかさを小スケールで表現することをコンセプトに製作しました。

手のひらサイズながら画像（写真）で見たときに実物より大きく見えるようにするため、塗装だけでなく装備品のディテールも可能な限り再現しました。

苦労したことは、日本人らしい肌色の再現と陰影のバランス取り、シャツとパンツの色味の再現です。（mamoru）

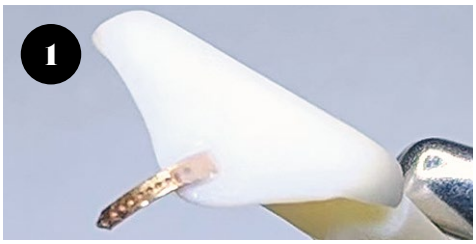
» The Real Figure.02

SAKURA NAKAMURA

DEUTSCHES AFRIKAKORPS

塗装前に一手間

小物は人と同じくらい目を引くもので、精密感を上げることで
作品としての完成度もグンっと上がる。
今作では最小限のディテールアップまでにとどめた。



1 ◀ホルスターのベルトは強度の確保とスケール感を演出するために1/35 ジェリカン抑えベルトのエッチングパーツを切り出し瞬間接着剤で固定した後、縫い代を瞬間接着剤 シアノンDWで整形した。

2 ◀複製の都合上、銃の天面にパーティングラインが出ているので修正しつつ埋まってしまっているモールドを彫り直した。細くて整形しにくいバレルは、完成時の強度も考え切り落として0.8㎜真ちゅう線に交換し、1㎜プラ棒でマズルを再現。フロントサイトはプラスチック材で作り直した。銃と手指の境目は削り込んでおくと完成時に自然な影ができて質感が高まる。

3 ◀それぞれのパーツを組んだ状態。

塗装パート

製作したフィギュアは実在する人物がモデルとなっており、
肌の色味も本人に寄せるのがセオリーだろう。
モデルとなった人物をよく観察して塗装するとよい。

1 ▲肌の青味を出すため Mr.サーフェイサー 1200 をレジン素材の色が透ける位のうすさで全体に塗装。ガイアノーツのサフレス フレッシュピンクを全体に吹き赤味を出す。

2 ▲ガイアノーツのノーツフレッシュとノーツフレッシュオレンジ（微量）とMr.カラー ラスキウス ココアミルク（微量）の混色で全体を塗装する。

3 ▲色味を確認するため Mr.カラーGXスーパースムースクリアー<つや消し>でツヤを消す。

4 ▲髪は3～4色使用して光の当たり方による色の違いと髪の重なりを意識しながら明暗を付ける。生え際はクッキリさせず肌の色を残しながらボンヤリとぼかすように描くと自然な仕上がりになる。

その他使用色は下記の通りで、
塗料はすべてラッカー系塗料である。

OTHER PAINTING

■シャツ：タミヤ LP-55 ダークイエロー２（ドイツ陸軍）
■パンツ：タミヤ LP-16 木甲板色　■靴：ガイアノーツ AT-24 アンバー、Mr.カラー 517 茶色 3606　■銃：Mr.カラー 125 カウリング色　■ホルスター：Mr.カラー 125 カウリング色＋522 土地色　■ベルト：Mr.カラー 132 土草色　■ベルトのバックル：Mr.カラー 52 フィールドグレー２　■帽子と靴下：タミヤ LP-56 ダークグリーン2

メイクパート

ここでもキモとなるのは、いかにしてモデルとなった人物に似せて塗装するかだ。
使用した塗料は全てラッカー系塗料だが、エナメル系塗料などで塗装しても問題ない。

1 ▲白目（Mr.カラー キャラクターホワイト）と目の粘膜（ガンダムカラー MSシャアピンク）を塗装後に小鼻、口角に陰色（Mr.カラー ラスキウス ココアミルク）をうすくのせて形状をわかりやすくしておく。

2 ▲アイシャドウ（ガイアノーツ 焔小豆とMr.カラー ラスキウス クリアーペールレッドの混色）とアイライン（Mr.カラー 土地色）、二重のライン（Mr.カラー マホガニー）、涙袋を塗る（アイシャドウと同色）。アイラインは一度に濃く描かず何度かに分けて重ね塗りするとよい。唇を塗装するときは下地の肌色が透けるようにうすく色を付けると自然な唇に仕上がる。

3 ▲こめかみの下から口角に向けてうすくチークを塗り（Mr.カラー ラスキウス クリアーペールレッド）、睫毛（Mr.カラー タイヤブラック）と眉毛（Mr.カラー 土地色）を描く。睫毛は1/20スケールなら線を描かずに色をぼかすだけでも雰囲気よく仕上がる。今回は睫毛の色に黒ではなくブラウン系を使って濃くなり過ぎないようにした。

4 ▲修正がしやすいように白をベースに青とグレーを微量混色した、うすいブルーグレーを使用して瞳を描く。

5 ▲瞳の位置と大きさが決まったら暗いブルー（Mr.カラー フタロシアニンブルー）で瞳の輪郭を描く。

6 ▲瞳全体に微量の黒を混ぜたガイアノーツクリアーブラウンを塗る。このとき瞼（まぶた）に近い部分を濃くすると瞳に立体感が出る。瞳にガイアノーツ Ex-クリアーを塗ってツヤを出し光を捉えるようにする。白目と瞼の境界線にガイアノーツ クリアーブラックで陰を描くとよい。また、小スケールで濃い色の瞳なので瞳孔は描いていない。

透き通るキレイな肌とくすんだ軍服。正反対の存在だが、むしろお互いがお互いを際立たせる存在となっており、統一感さえ感じられる。それを可能にしているのがmamoruさんの塗装テクニックだ。

9784499233385

ISBN978-4-499-23338-5 C0076 ¥2700E

定価（本体 2,700 円＋税）

1920076027000